アズマモグラ　*Mogera imaizumii* (Kuroda)

【選定理由】

国内では本州中部以北で連続した分布を示すが、中部以南では不連続で孤立した個体群となっている。県内では 1984 年まで生息が知られていなかったが、最近の発見は以前考えられていたより広い地域で発見されうることを示している。しかし、本県の分布域は本州北部個体群の最南端にあり、特に平地や丘陵地の小個体群は孤立していて、こうした小個体群は絶滅する危険性が高い。

【形　態】

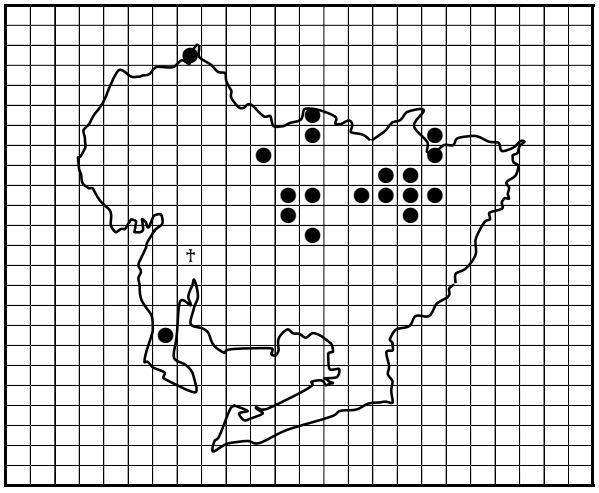
体重 48.0～127.0g、頭胴長 121.0～159.0mm、尾長 14.0～22.0mm、後足長 15.5~22.5mm、頭骨最大長 31.5～38.5mm。小型～中型のモグラであるが、体の大きさの地理的変異が著しい。愛知県内のアズマモグラは小型である。頭骨は吻部が比較的狭く、眼窩部の膨らみが大きい。上顎の切歯列は V 字型か U 字型をしており、円弧状の配列を示すコウベモグラと異なる。歯式は I3/2,C1/1,P4/4,M3/3=42、脊柱式は C7+T14～15+L4～5+S6+Cd11～12=44（子安・織田, 2009 など）。

【分布の概要】

【県内の分布】

犬山市、瀬戸市、美浜町、豊田市、設楽町、豊根村、新城市、豊川市（原田, 1996 ; 1998 ; 愛知県商工部万博誘致対策局, 1996 ; 川田・姫田, 2001 ; 子安ほか, 2001 ; 子安, 2007 ; 子安・織田, 2009 ; 河辺ほか, 2018）。岡崎市でも生息の可能性がある（子安, 2014）。

県内分布図



【国内の分布】

本州、四国、粟島、能登島、小豆島。

【世界の分布】

日本固有種。

【生息地の環境／生態的特性】

国内の主要な分布地である本州中部以北では、低地から低山帯の平野部の草地、耕地、森林などに多く、高標高地の草原にも生息する。愛知県内では、山地ないし丘陵地の土壌の発達の悪い場所に生息しているが（子安ほか, 2001）、山地のゴルフ場内でコウベモグラと微妙なすみ分けをしている場所もある（川田・姫田, 2001）。餌としてはミミズ類と昆虫類が多い。春に主要な繁殖期があり 1 回に 2～6 仔を産む。寿命は 3 年あまり。

【現在の生息状況／減少の要因】

県内では 8 市町村の 14 地点で確認されているにすぎない。奥三河の豊根村、豊田市稲武地域、設楽町、新城市鳳来地域では分布が連続している可能性があるが、他の丘陵地や平地の個体群は孤立している可能性が高い。個体群の分断・孤立化や対抗種であるコウベモグラの侵入を許すような土壌改良をともなう開発が個体数を減少させると考えられる。

【保全上の留意点】

本種の分布域は対抗種であるコウベモグラの分布域と部分的に重複しており、両種が生息する場所では土壌が浅く環境条件の悪いところにアズマモグラが生息する傾向がある。したがって、土壌条件の悪い丘陵地や山地での開発の際は、アズマモグラの生息する可能性を常に検討し、本種の生息が確認された際には、生息域の分断を回避し、土壌条件を改変しないように留意すべきである。

【特記事項】

刈谷市天王町の本刈谷貝塚（晩期縄文時代）から出土したモグラの上腕骨は「やや小型で･･･アズマモグラのそれをみるような大きさ」であった（直良, 1972）。この遺跡遺存骨がアズマモグラのものであることが証明されれば、現在、知多半島、瀬戸市、設楽町でコウベモグラと拮抗しているアズマモグラの分布域が、縄文の寒冷期から現在までにやや縮小したといえるだろう（子安, 2007）。

【引用文献】

愛知県商工部万博誘致対策局, 1996. アズマモグラ・コウベモグラ. 瀬戸市南東部地区に生息する生物の多様性に関する調査, pp.26-29. 愛知県商工部万博誘致対策局, 名古屋.
原田猪津男, 1996. ほ乳類. 設楽町誌『自然編』「資料編」, pp.585-593. 設楽町, 愛知県北設楽郡設楽町.
原田猪津男, 1998. ほ乳類. 新編豊川市史第十巻『自然』-本文-, pp.365-370. 豊川市, 愛知県豊川市.
河辺勇治・清田佳奈・森本正俊・子安和弘・織田銑一, 2018. 豊田市下山地区で確認されたアズマモグラ. 豊田市自然史博物館報, (28):55-57.
川田伸一郎・姫田 始, 2001. 愛知県設楽町東納庫ｶﾝﾄﾘｰｸﾗﾌﾞ内でのモグラ 2 種の分布調査. マンモ・ス特別号, (3):49-52.
Kawada, S. & Yokohata, Y. 2015. *Mogera imaizumii* (Kuroda, 1957). The Wild Mammals of Japan, 2nd ed., pp.34-35. Shoukadoh Book Sellers, Kyoto.
子安和弘, 2007. 哺乳類. 海上の森の自然史, pp.115-128. あいち海上の森センター, 愛知県瀬戸市.
子安和弘, 2014. アズマモグラ. ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸおかざき 2014, p.175. 岡崎市, 愛知県岡崎市.
子安和弘・織田銑一, 2009. アズマモグラ. ﾚｯﾄﾞﾃﾞｰﾀﾌﾞｯｸあいち 2009 動物編, p.79. 愛知県環境部自然環境課, 名古屋.
子安和弘・小林秀司・大竹 勝, 2001. 愛知県の食虫類と翼手類. マンモ・ス特別号, (3):19-34.
直良信夫, 1972. 本刈谷貝塚発掘の脊椎動物遺体. 本刈谷貝塚, pp.88-92. 刈谷市教育委員会, 愛知県刈谷市.

（子安和弘・織田銑一）